



希望を胸に58名の卒業生が巣立ちました！

今週は、別れの春の訪れを足踏みさせるかのような寒い日が続きました。

3月19日(水)、PTA 会長様、学校運営協議会委員の皆様、保護者の皆様の御臨席を賜り、第34回卒業証書授与式を無事執り行うことができました。

卒業式には、在校生を代表して5年生が参加しました。当日までの卒業式練習、前日の会場作りや美化作業にも一生懸命取り組んだ5年生。身近でありながらも偉大な壁であった卒業生に対する感謝と敬意を式に至るまでの過程でも表しました。式においては、独特の緊張感の中、入場曲「威風堂々」のリコーダー演奏を担当しました。卒業生の最後の勇姿を目に焼き付けながら、卒業生の門出を心からお祝いすることができました。



凛々しい姿で晴れ舞台に臨んだ卒業生。担任の先生からの呼名に、大きな声で返事をし、胸を張って卒業証書を受け取りました。「旅立ちの言葉」では、思い出や決意を述べる卒業生の姿に、一人一人がたくましく成長したことを改めて感じました。卒業生全員が声をそろえる場面では、この学年の子供たちらしい明るさと勢い、一体感を見せてもらいました。5年生に最高学年のバトンを託す場面では、

卒業生の母校に対する思いと5年生への信頼と期待が伝わってきました。

バトンを受け取った5年生からは、「いよいよ自分たちが最上級生になる!」という覚悟を感じました。礎が築かれた浅羽東小の「き・あ・い」の文化をさらに発展させていってけると期待しています。

卒業生、5年生と一緒に校歌を歌った時には、この校歌が100年以上歌い継がれてきた浅羽の3小学校共通の校歌であることを思い出し、子供たちがこの地域を守り、この地域の未来を作っていくのだと感慨深い気持ちになりました。卒業生が最後に披露した卒業合唱「絆」にも心が震えました。成長した子供たちの姿を誇らしく思いながらも、別れの寂しさを噛みしめる卒業式となりました。

巣立ちとは、喜びと寂しさが重なり合う、そんな瞬間なのだ改めて感じさせられました。



地域の皆様に支えられ、見守られて卒業を迎えることができました。ありがとうございました。卒業生58名の健やかな成長と今後の活躍をお祈りしています。



令和6年度修了式 一年間を振り返って・・・

修了式(3/18)では、各学年の代表児童が一年間を振り返って頑張ったことや自分自身が成長したことについて発表しました。自信をもって堂々と発表する姿が立派でした。代表の子供たちが「自分としっかりと向き合い、自分を正しく理解しよう、自分を振り返っている」ことが分かりました。修了式の校長先生のお話と重なる代表児童の姿でした。



- 1年生 縄跳びの後ろ跳びと授業での発表。縄跳びは、学校でたくさん練習した。授業での発表は、ちょっと恥ずかしかったけど、がまんした。いい意見が言えて、みんなから拍手してもらえた時はうれしかった。
- 2年生 きらきらあいさつとかけ算九九。あいさつ運動は、あいさつを返してくれる人がいたことと、クラス全員でやれたので一年間続けられた。九九は苦手だったけど、繰り返し練習して全部の段を言えるようになった。
- 3年生 かけ算の筆算と体育の大縄。筆算は早くできるように自主勉強で練習したり、教科書の問題をたくさん解いたりした。大縄は、連続で跳べなかったけど、昼休みや体育の授業でたくさん練習した。チームで最高218回も跳ぶことができた。
- 4年生 跳び箱と長縄、委員会のあいさつ運動。跳び箱は、お手本をよく見て練習した。長縄は、縄を速く回すチームに最初ははじめなかったけれど、一生懸命練習した。あいさつは、最初は大きな声でするのが恥ずかしかった。来年度も、みんなのお手本になるようなあいさつをしていきたい。
- 5年生 リーダーとしての行動という面で成長した。次の時間や活動を考えて周りに声をかけたり、リーダーとして進んで取り組んだりできるようになった。学習面では、話し合いが上手になった。クラスの意見を自分たちの力でまとめることができるようになった。4月からは、下級生を引っ張っていけるよう頑張りたい。
- 6年生 リーダーシップの面で成長した。登校班や修学旅行の班長を務めたことがきっかけで、みんなをまとめることができるようになった。あきらめずに挑戦し続けるという面でも成長した。以前は、挑戦することから逃げ、後悔してきた。その経験があったから、今は失敗を怖がらず、努力は報われると信じて挑戦している。

校長先生のお話では、学校の目標に対するこの一年の振り返りをし、自己評価をハンドサインで表しました。

「相手を大切にしたい聞き方」「相手に届くあいさつ」「いじめのない浅羽東小」に関する質問を校長先生が投げ掛け、子供たちは自分を振り返りました。途中、「周りの人の様子も気になると思うけど、自分の心に聞いてね。」と校長先生が子供たちに投げ掛ける場面もありました。

「自分も相手も大切にしたい子」になるためには、まずは今の自分を正しく知ること、「今の自分

てこうなんだ」と自分を理解し、受け入れてから、なりたい自分を描いてほしいというお話でした。落ち着いて話を聞く子供たちの姿にこの一年の成長を感じました。



あなたは、先生や友だちに自分から、あいさつしていますか？

はい
どちらかといえば、はい
どちらかといえば、いいえ
いいえ

この3学期、あなたは いじめをしませんでしたか？

はい
どちらかといえば、はい
どちらかといえば、いいえ
いいえ

たいせつなことは・・・

ぜったいに自分をごまかさなさい！

自分と しっかり向きあって
自分を ただしく りかい しよう
自分をふりかえることができたか